

2026.4.9

令和8年度 兵庫県立明石公園桜守活動報告

藤原春善(1093)

- 1, 活動日時：2026年4月9日9時～12時 晴後曇り
- 2, 活動場所：兵庫県立明石公園
- 3, 活動人員：(公財)兵庫県園芸・公園協会(1名)
桜守ボランティア(8名)
兵庫県樹木医会樹木医(1名)

4, 活動内容

(1) 桜の観察(開花状況・腐朽進行程度・不定根等)

- ・ソメイヨシノ、ヤマザクラ、庄川桜は散り始め、ヤエベニシダレ、サトザクラは8分咲きであった。



ヤマザクラ



ヤエベニシダレ

- ・ソメイヨシノは、60年越えて、心材腐朽が進んで危険木化したものがかなりあり、早急に対策をとる必要がある。



左後方：ソメイヨシノの枯れ枝を剪定した。

右前方：主幹枯れは殺菌処理し、胴吹きを生かし、ヒコバエは1, 2本残置する。



太枝が剪定処理され、幹中央が腐朽しているが不定根が割れ目に見られる。

菌類(チャウロコタケ)、地衣類(ウメノキゴケ)が着生し、腐朽し太枝落下の可能性があり、切除処理をする必要がある。



危険木開口空洞 70%以上に達し倒木の可能性が極めて高く早急に伐採処理する必要がある。

ヒイロタケ・ウメモキゴケが着生し、白色腐朽を引き起こし、太枝が落下するため切除処理が必要である。



チャウロコタケが着生し、腐朽を引き起こしているため、太枝の切除処理が必要である。

地衣類、蘚苔類が着生しているが、菌類は見当たらない。しかし、バランスを考えると入皮部で切除処理が必要である。



ウロコタケ類着生（褐色腐朽）殺菌処理が必要である。



前方は菌類等着生し落下可能性が高い為太枝切除が必要である。後方はソメイヨシノがキヅタに覆われているためキヅタを切除した。



2株とも開口空洞が60%の為伐採が必要である。



開口空洞が40%であるが、殺菌処理をし、不定根、胴吹き、ヒコバエを活用すると良い。

(2) 新旧切り替え胴切り剪定



胴切り前



切口の殺菌（トプジンペースト等）処理し、ヒコバエ・胴吹きを期待したい。
なお、根上りしてる部分は土層が薄い為、根上がりした部分まで土を入れると良い。